

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

去る十二月六日（月）西本願寺高岡会館礼拝堂において高岡教区仏教婦人会連盟常任委員会終了の後、実践運動研修会Ⅱが岡西法英師をご講師にお迎えし「人の命とダーナ・ビハーラ」をテーマに開催され、ご講師よりは、「信心とは弥陀の仏心を信受すること」と題した研修資料が配布され、七十二名の会員が参加し学びを深めた。

今、新型コロナウイルスの世界的な大流行により、我が国においても生活様式が一変し、研修会や法座の開催頻度が格段に下がった状況にある。今回の研修は、そのような中でも、仏婦会員から、ご法話をお聴聞したいとの声が多数あったこと、また、高岡教区仏教婦人会連



◇高岡教区仏教婦人会連盟実践運動研修会Ⅱ開催

盟では、毎年十二月の第一日曜日を教区「ダーナの日」とし、募金活動に取り組んでいることから、ダーナ・ビハーラの意味をもう一度確認するとともに、今一度、「慈しみのこころ」「支えあうこころ」「助け合うこころ」そして、「身心の安らぎの場所」について考える機縁にしたいとの思いからご法話を頂戴したものの。

終了後のアンケートでは「ダーナ」とは、お布施。「ビハーラ」は、慈善活動。仏婦のお世話をした当初戸惑いましたが、今では、当たり前自分の自分がある。私達の日常における「慈しみの心」「支えあう心」「助け合う心」を持つ大切さを、ご講師の丁寧なお言葉で説明いただき、心が洗われる気持ちで受けとめたとの参加者からの意見があった。

★第一回僧侶研修会開催

去る一月十七日（月）、西本願寺高岡会館礼拝堂において二〇二二年度第一回僧侶研修会が開催され、僧侶・門信徒スタッフ合わせて五十八名が参加した。

今回のテーマは「障害」（根欠）者差別を考えるーみ教えと差別の現実に学ぶⅢー

本テーマは近年の障害者差別問題への取り組みの中で「障害」があるのは個人の側でなく、「障害者」と見なす社会の側にあるという「社会モデル」

という考え方が主流と
なっている中で、これま
で私たちの教団におい
て障害を持つ方の苦し
みや困難に対し「前世の
業の報いである」という
誤った業報思想や差別
法話がなされてきた歴
史と事実を踏まえ、加差
別の側に立ってきた私
たち教団がどのように
『障害者差別』という課
題を教学的課題として
受け止め克服していく
のか、私の生き方と教えの受け止めを問い直すことをねらいとし
て企画されたもの。

研修会に当たっては新型コロナウイルス感染症対策として本来
予定されていた分散会を中止し、全体協議会とするなどの感染対
策を施した上で開催された。（詳細は「御同朋の社会をめざすコー
ナー」にて）

◆教務所からの事務連絡

教区宗務推進にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、一月十七日（月）より、郵便局において払込書（赤色）
による現金での送金について事務手数料が設定されました。宗派



「御同朋の社会をめざす運動」推進僧侶研修会（第2回・第3回）及び 諸行事の延期・変更のお知らせ

ご案内しておりました2021年度「御同朋の社会をめざす運動」推進僧侶研修会
（第2回・第3回）及び諸行事・会議が延期・変更されることとなりましたのでご案内
いたします。なお、延期となった行事につきましては後日調整の上、改めてご案内
する予定です。

●延期となったもの

- ①第2回僧侶研修会…1月28日（金）午後5時半～8時50分
- ②第3回僧侶研修会…1月29日（土）午後1時半～4時40分
- ③連研活動推進協議会…2月9日（木）午後4時～6時

●中止となったもの

- ①仏婦・寺女合同実践運動研修会…2月25日（金）午後1時半～

以上

宛ての送金（院号申込にかかる懇志等の送金）について、教務所
を窓口として送金される場合、郵便局の事務手数料（現在は一
〇円）を別途ご負担いただくことといたしました。
なお、教区手数料を別に頂戴している願記冥加金の宗派宛送金
については、今まで通りの対応とさせていただきます。何卒、ご
理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

僧侶研修会を受けて

二〇二一年度の僧侶研修会が実施されました。研修テーマは「障害者（根欠）差別を考える―み教えと差別の現実に学ぶⅢ―」でした。

会場となる高岡教務所の礼拝堂もコロナウイルス感染症の対策を十分に言い、講義形式で小笠原正仁先生（同和教育振興会派遣講師）よりご講義を戴きました。

布教という教化の場面でご門徒さんの意識やさまざまな悩みを切り開くヒントや話し合いの切り口として受け止めていただける研修となればと話が始まり、これまで障害者差別に対して本願寺教団がどうであったかについて述べられ、「障害」によって受ける苦しみや困難は、「その人の前世の行い（業）の報いである」という誤った業報思想を説いてきたことを例に、布教によって「障害」者差別を正当化してきた経緯があることを冒頭に話され、その事実を私たちがどのように受け止めていくのかについてお話いただきました。

また、これまで「障害」は障害を持つ個人の自己責任とし、社会全体の責任として支えることをしてこなかった日本の社会状況について述べられ、「実際には『障害』を作り出しているのは社会の側であり、車いすに乗っているあなたが悪いのでは？と行ってきただけ」と指摘。

「障害を持つ人、車いすに乗っている人が本来その人の自己実現や人権を実現していくために社会が変わることを考えていかねばならない」とし、「電車に乗るためにはどんな駅にもスロープを整備して、駅員を配備することをしなければならぬ。関西では車いすの人が電車に乗るために無人駅にしないようにする運動が起こっている。それは本来社会が考えていかなければならない当然のコストであるが今までは余りにも軽視されてきた。電車や車いすの問題に限らず、地域社会も私たち寺院僧侶も誰一人も取り残さないためにコストを払うことを考えなければならぬ

い。そういう考え方に広がらなければならない。お寺だってそうです。車いすで出かけることができない、お参りをすることができない、そんな段差の無い社会にしてください」と述べられました。

また、諸外国では考えられないほど自己責任を追究する考えが強い日本社会の土壌を生み出した要因として、日本昔話と僧侶の布教の二つを挙げられました。まず昔話が「因果応報」論を基盤とした構成になっていることが背景にあるとされ、それらの昔話（実は明治以降に国策と連動する形で造られ、広められたものも多いとのことです）によって民衆が教化されていき、僧侶も「前世の業」として全ての責任を差別を受け本人に求める布教を繰り返してきたことが社会に極端な自己責任論を根付かせた背景にあると述べられました。

その上で、「因果応報」「自己責任」という考え方は様々な問題を先送りし、社会の矛盾や問題を見えなくさせる役割を果たしてきたことを述べられ、そのあり方をどのように克服していくのかということが現代の「私たちの課題」であるとお話いただきました。

小笠原先生の講義から私の中に印象深く残っている話を時系列的に書いてみました。差別を考える上で、指摘を受けたことが「私にとって都合だ」と思ったことなら、そこに今まで気付けなかった自らの差別性がある、と学んだと思います。

講義の最後に高岡教区委員会副委員長の城野至界さんが閉会の挨拶で「世の中は絶対変わると思っています。顕著な例は『たばこ』です。十年でたばこに対する視点が変わりました。世の中もどんどん変わっていきまます。私たちが諦めの中で差別に立ち向かうことをやめてしまおうとご本願をいただいている実践を止めてしまうことになる。差別は嫌です。」と述べられました。差別を学ぶから差別が見える。差別も時代に合わせて変化していく。常に問い続けることの必要性を実感する研修会でした。

【五位組主幹 磯原正浩】

◇これからの日程（2/14～3/30）◇

2月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 全国布教使研修 (web)	
17	宗派常任委員会(web)	
18	宗派中央委員会(web)	
20		仏壮ボウリング大会 (中止)
21	教材委員会	
22	教学研究室企画会議	連区ビハーラ協議会 (web)
24	教区会議員懇談会	
25		仏婦・寺女合同実践運動研修会 (中止)
26	門徒推進員研修会 (延期)	
3月		
1	ブロック組長会打合せ (web)	
2		浄青僧本山参拝 (中止)
3		関野組実践運動研修会 少年連盟連絡協議会 (web)
7	常備会	
8	講社役員会	ビハーラ研修会
12		若女研修会
14	常例法座 全国教区会議長会	
15		仏婦常任委員会
17		全国総代会(web)
25	財団理事会・評議員会	
28	教区会	
30		新任保育士研修会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (KNB)・73.8kHz.

◎毎週土曜日 (本山制作) 午前6:15～6:25

□第2・4日曜日 (富山・高岡制作) 午前6:00～6:10

◎2/26 (土): 高島 幸博氏

(本願寺派布教使・大阪教区茨木東組専念寺衆徒)

「悩みを想う」

□2/27 (日): 池内 瑞雄氏

(高岡教区)

◎3/5 (土): 小林 顯英氏

(本願寺派布教使・大阪教区榎並組法栄寺住職)

「不確かな私の目」

◎3/12 (土): 小林 顯英氏

(本願寺派布教使・大阪教区榎並組法栄寺住職)

「お西さんを知ろう」の願い」

◎3/13 (日): 未 定

(富山教区)

◎3/19 (土): 小林 顯英氏

(本願寺派布教使・大阪教区榎並組法栄寺住職)

「ラジオ放送を通して①」

◎3/26 (土): 小林 顯英氏

(本願寺派布教使・大阪教区榎並組法栄寺住職)

「ラジオ放送を通して②」

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (170袋) 10,000円

・1組 (10袋) 600円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
(寺族青年会担当)

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

ご講師: 日南 淨円氏

(氷見西組長福寺)

ご講題: 『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。